



道徳通信

教員用

NO. 17

平成28年11月29日発行
道徳教育推進委員会

生徒の自己発信をバックアップ！

No.16に引き続き、第2回高等学校等道徳教育推進教師研修会の報告をいたします。

今回は、指導課、担当の庄司指導主事の「県作成道徳教材の活用について」という演題での研究協議に内容について取り上げます。

国や県の動向に加えて、今後対応すべき点について、示唆に富む内容説明でした。

詳細は、アップロードした資料を御覧いただければと思いますが、一斉授業の形態での実施がすでに時代遅れの感じになっているということでした。

アクティブラーニングやグループ学習の形態が一般化しつつあることも一因とは思いますが、生徒が自分の意見を表明する場を設けるには、一斉授業形式では限界があるということが言えます。教員と一対多の関係で自分の意見を表明し、他の生徒の意見を聴くのでは、相互の直接的なふれあいがないものになります。

生徒が相互に意見を交換し、考えを深化させるには、少なくともグループ単位の活動を取り入れることは避けては通れません。

本校での実施形態は、ワークシートを完成させる自己完結から抜け出せていない印象があります。生徒自身の気持ちにアプローチする形態での授業を工夫する必要を痛感したところです。

佐原白楊での授業公開について

12月に佐原白楊高等学校を会場として、道徳の授業公開が開催されます。

一年間研究指定を受け取り組んできた成果を発表する場です。本校からは初任の2名が参観する予定になっています。

おそらく、多くの示唆に富んだ取り組みが見学できることと思います。

授業案等は、追って公開できるよう準備をしたいと思います。

2学期を振り返って

2学期の道徳授業も11月24日で一段落となります。

2学期の実施概要は、以下のとおりです。

実施日	内容	映像	視点
9月15日	「いのち」の重み Ⅱ【14】-視点「すばらしい「いのち」」	×	3
10月20日	支える人になりたい H25映像-勤労観・職業意識の高揚	○	2
11月17日	進路ガイダンス	△	1
11月24日	ヒーローから学ぶ Ⅱ【2】-視点「かけがえない自分」	×	1
教材 活用状況	映像教材		1
	集会等		1
	読み物教材		2
	独自教材		0

凡例 ○：映像，△：集会，×：読み物

1, 2学期を通じて、4番目の視点「未来へつながる「いのち」」の取組がまだ行われていない点と、『明日への扉Ⅰ』の活用がない点が、3学期への課題となります。

3学期は、残り2回の取組ということですので、これらの課題を解決できる教材選びを、ぜひお願いします。

1年生では、副担任が授業を実施するなど、取組に広がりが出てきています。この流れを大事にしながら取り組んでいきましょう。